

[2021]九州大学情報統括本部年報 : 2021年度

<https://hdl.handle.net/2324/4844360>

出版情報 : 九州大学情報統括本部年報. 2021, pp.1-, 2022-10-01. Information Infrastructure Initiative, Kyushu University

バージョン :

権利関係 :



第17章 情報セキュリティ対策基本計画事業室

17.1 サイバーセキュリティ対策等基本計画の遂行

「九州大学サイバーセキュリティ対策等基本計画」について、各事業室と連携を密にしながら進捗状況の管理・情報共有を行い、それぞれの計画事項を着実に遂行した。

17.2 活動内容

九州大学サイバーセキュリティ対策等基本計画に沿って活動した。主な活動は以下のとおりである。

- ① 主に以下の会議や意見交換会に参加し、情報収集を行っている。
 - ・文部科学省関係機関最高情報セキュリティ責任者会議（2021年11月19日開催）
 - ・福岡県警との意見交換会（2021年11月9日開催）
 - ・日本シーサート協議会全体会（2021年8月27日開催）
 - ・学術系 CSIRT 交流会（2021年8月27日開催）
- ② 文部科学省主催の以下の研修に参加し、情報セキュリティに関する専門的な知識の向上を図った。
 - ・CISO マネジメント研修（2021年10月6日 1名）
 - ・戦略マネジメント層研修（2021年9月10日 1名）
 - ・情報セキュリティ監査担当者研修（基礎編）（2021年12月23・24日 1名）
 - ・情報セキュリティ監査担当者研修（応用編）（2022年1月31日・2月1日 1名）
- ③ インシデント対応を行う職員（九大 CSIRT）が以下の研修や講義に参加し、インシデント対応に関する知識・技術の向上を図った。
 - ・NII-SOCS インシデントマネジメント研修（2021年12月7日 2名）
 - ・サイバーセキュリティ演習（基幹教育科目）（2022年2月11・12日 2名）
- ④ 標的型攻撃メール訓練を実施（2021年9月）し、標的型攻撃メールへの理解を深めるとともに、訓練終了後には訓練内容に関する説明資料を用意し事後学習を行った。
- ⑤ 九大CSIRT及びISMS運用事業室とともに、全教職員を対象とした「eラーニングによる情報セキュリティ教育」と「情報セキュリティ対策の自己点検」を実施（2022年1月24日～3月31日）し、9,166名中7,062名が受講した。（2020年度は8,946名中7,730名）2020年度との比較で受講者数が減少した要因として、実施時期が遅かったことが考えられるため、実施時期の見直しが課題であるとの認識を共有した。
- ⑥ 「九州大学情報セキュリティ監査要項」に基づき、学内5部局を対象に情報セキュリティ監査を

実施した。(2021年11月～2022年3月)

また、本学のISMS適用範囲においてはISMS方式による内部監査を実施した。(2021年10月)

- ⑦ 情報統括本部の会議や全学委員会等において、主に以下の注意喚起や報告を行った。
- ・ 情報セキュリティに関する注意喚起
 - ・ 標的型攻撃メール訓練の実施状況
 - ・ eラーニングによる情報セキュリティ教育等の実施状況
- ⑧ 2021年度末に終了した九州大学サイバーセキュリティ対策等基本計画の実施状況を踏まえ、2022年度版の九州大学サイバーセキュリティ対策等基本計画を策定した。(2022年3月11日)